

56年ぶり 春陸OB 3000mSC 日本選手権表彰台

春陸の長距離伝説は、インターハイも箱根駅伝も日本選手権も、この2人に集約される。

杉崎 孝先輩以来、56年ぶりに日本選手権、3000mSCの表彰台にのぼった。

2019 第103回日本選手権 男子3000mSC 決勝

- 1 坂口 竜平(97)東海大 8:29.85PB
- 2 打越 雄允(94)大塚製薬 8:35.39PB
- 3 青木 涼真(97)法政大 8:36.65



奇しくも2人とも東京五輪の選考に挑む形となった。

青木は実力的には6位入賞は堅いであろうと

秋庭先生は語っていた。別格の塩尻選手とイン

カレでも後塵を拝した坂口選手、そして速いレ

ースに慣れている実業団選手には厳しいと思

われていた。しかしそこは「大負けしない青木

くん」(私と秋庭先生が高校時代からつけてい

るニックネーム)



堂々の3位表彰台を勝ち取った。関東インカレは3連覇を逃しくやしい思いであったが、この日本選手権は2つくらい順位が予想を超えたようだった。

杉崎先輩は、2位と4位（招待外国人2人なので日本人では2位）の入賞歴がある。

国体は3位日本新記録であった。

青木もまだ「22歳なので目先の五輪は気になるだろうが、長いロードも当然視野に入れているだろう。箱根のあののぼり距離を走りきれのだから当然か。

いずれにせよ、シニア選手との戦いの火ぶたは切って落とされた。最後の箱根での活躍を待って、アスリートとしての最大に成長局面を迎えることであろう。



筆 野本順一

